

令和元年度の主な事業報告

社会福祉法人多聞福祉会

令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）事業につき、
その概要を以下のとおりご報告いたします。

【法人本部】

I. 法人事業の沿革

(1) 任期満了に伴う役員の変更

令和元年 6月22日（定時評議員会）

理事 6名選任 令和元年6月22日～令和3年定時評議員会終結時迄

監事 2名選任 令和元年6月22日～令和3年定時評議員会終結時迄

令和元年 6月22日（理事会）

理事長 選任 令和元年6月22日～令和3年定時評議員会終結時迄

(2) 規程の変更

令和元年 6月22日施行 「社会福祉法人多聞福祉会役員等の報酬規程」改正

令和元年 6月 1日施行 「給与規程」一部改正

令和元年10月 1日施行 グループホーム「運営規程」一部改正

令和2年 1月 1日施行 特別養護老人ホーム「運営規程」一部改正

(介護予防) 短期入所生活介護「運営規程」一部改正

(3) 役員会

評議員会

令和元年 6月22日（土）

(報告事項)

- ・平成30年度事業報告の件
- ・社会福祉充実残額についての報告

(決議事項)

第1号議案 平成30年度計算書類及び財産目録の件

第2号議案 理事6名及び監事2名の選任の件

第3号議案 役員報酬規程の改正について承認の件

理事会

令和元年 6月 1日（土）

(報告事項)

- ・職務執行状況の報告
- ・社会福祉充実残額についての報告

(決議事項)

第1号議案 平成30年度事業報告（案）及び平成30年度決算報告（案）承認の件

第2号議案 「給与規程」改正についての承認の件

第3号議案 次期役員候補者の件

第4号議案 「役員報酬規程」改正(案)の件

第5号議案 定時評議員会の招集の件

令和元年 6月22日(土)

(決議事項)

第1号議案 理事長の選定について

令和2年 1月24日(金)

(報告事項)

・理事長の職務執行状況の報告

(決議事項)

第1号議案 「運営規程」改正についての承認の件

令和2年 3月(新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制により書面審議)

(審議事項)

第1号議案 令和元年度補正予算(案)について

第2号議案 令和2年度事業計画(案)について

第3号議案 令和2年度収支予算(案)について

第4号議案 「給与・賞与規程」の全面改正について

監事会

令和元年 5月27日(月)

平成30年度の理事の業務執行の状況及び法人の財産状況についての監査

(4) 法人行事

ふれあい祭り 平成31年 4月20日(土)

物故祭(大聖寺より来苑) 令和元年 8月 4日(日)

松鳳山関 慰問 令和2年 1月29日(水)

九州プロレス(めんたいキッド)慰問 令和2年 2月 6日(木)

(5) 地域との交流

・広川町 介護予防に資する人材の育成に関する事業 平成31年4月～令和2年1月
拠点型住民主体の通いの場「水曜にこここ教室」 毎月第2・第4水曜日

・広川町社会福祉法人連絡会

第1回 令和元年12月18日 広川町保健・福祉センターはなやぎの里

第2回 令和2年 1月29日 広川町保健・福祉センターはなやぎの里

・広川町立広川中学校第2学年職場体験学習 令和元年 9月12日、13日来苑

(6) 防災訓練

・デイサービス 出火想定 令和元年 7月31日実施

・自動通報システム 通報訓練 令和元年10月30日実施

・特養(2階)(夜間) 出火想定 令和元年11月27日実施

(7) 外部講師による苑内研修

・麻生教育サービス(株)

〈新人職員研修〉 新人職員2名 令和元年 4月10日 180分

〈新人職員フォローアップ研修〉	新人職員 1 名	令和元年 9 月 5 日	1 8 0 分
〈リーダー研修〉	リーダー 3 名	令和元年 5 月 2 2 日	1 5 0 分
		令和元年 7 月 2 4 日	1 5 0 分
		令和元年 9 月 2 5 日	1 5 0 分
		令和元年 1 1 月 2 7 日	1 5 0 分
〈介護技術基礎研修〉	全正職員対象	令和元年 7 月 1 0 日 (A 班)	1 2 0 分
		令和元年 8 月 2 3 日 (B 班)	1 2 0 分
〈プロフェッショナル研修〉	全正職員対象	令和元年 1 0 月 9 日 (A 班)	1 2 0 分
		令和元年 1 1 月 2 2 日 (B 班)	1 2 0 分
・ (医) 雪の聖母会 聖マリア病院			
〈メンタルヘルスケア研修〉	全正職員対象	令和元年 6 月 1 0 日	6 0 分
(8) 資格取得研修			
・ (一社) 日本ユニットケア推進センター			
〈ユニットリーダー研修〉	リーダー職 1 名	講義 令和 2 年 1 月 1 4 日～1 6 日	
		実地 令和 2 年 2 月 1 1 日～1 4 日	
・ (株) プレゼンスメディカル			
〈喀痰吸引等研修〉	介護福祉士 4 名	講義 令和元年 1 1 月 2 1 日～	
		令和 2 年 1 月 1 6 日	
		演習 令和 2 年 1 月 2 3 日～	
		令和 2 年 4 月 3 日	
(9) 地域交流スペース (ユニット型特養 3 階) 利用			
・ 介護予防「水曜にこここ教室」(事業の実施主体・・・広川町 福祉課 高齢者支援係)			
		平成 3 1 年 4 月～毎月 2 回 第 2・4 水曜日	午前 1 0 時から 1 1 時 3 0 分
・ 秀光典会 (三味線・民謡サークル)		平成 3 1 年 4 月～令和 2 年 1 月	毎週月曜日

特別養護老人ホーム彌栄苑 令和元年度事業報告

I. 事業所の沿革

(1) 固定資産取得

〈建物附属設備〉

- ・ 非常用自家発電設備

(株) 井手電工

令和 2 年 1 月 2 7 日取得

¥ 4, 2 1 1, 9 0 0

〈器具及び備品〉

- ・ テーブル型冷凍冷蔵庫

ホシザキ北九 (株)

令和元年 8 月 2 6 日取得

¥ 2 7 5, 4 0 0

・タオルスチームカート	山下医科器械（株）	令和元年 8月26日取得	¥183,600
・特殊浴槽 一式	キングラン九州（株）	令和2年 1月27日取得	¥5,775,000
・防災用携行型発電設備	（株）井手電工	令和2年 1月27日取得	¥248,050

(2) 補助金事業

・令和元年度福岡県地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金 高齢者施設等の非常用自家発電設備整備事業	令和2年 3月17日交付	¥ 2,354,000
--	--------------	-------------

(3) 指定介護サービス事業所 指定更新申請 令和元年 8月25日 申請
福岡県保健医療介護部 介護保険課 指導監査第一係 令和元年10月16日調査来苑

(4) 地域との交流

・斗和保育園 誕生会慰問	令和元年 5月～令和2年 1月
・斗和保育園 七夕の慰問	令和元年 7月 4日
・斗和保育園 歌と踊りの慰問	令和元年11月13日
・斗和保育園 クリスマス訪問	令和元年12月25日

II. 処遇について

(1) 相談支援について

- ・入所稼働率 92%を目標とし、今年度は 89.26%であり入院者数が前年度よりも増加し課題が残る結果となりました。
- ・ショートステイ稼働率は、70%を目標としていましたが、74.0%の稼働率を達成しました。今後もショートステイの受け入れを積極的に行って、稼働率を高めていきます。
- ・加算では、前年度と同様の加算を算定しました。
- ・広報活動としてのホームページについては、サイト訪問数が 2,647、ページ閲覧が 6,476 であり前年度とあまり変わらない状況でした。今後も増加するようフェイスブックの活用等を視野に入れていきます。

(2) 処遇計画（ケアプラン）について

- ・各専門職者で行われるカンファレンスにて情報交換を行い、様々な視点から利用者様・御家族の希望も含めケアプラン内容・支援方法について検討することができました。また、担当制を推進することで、職員の意識が向上しているため、今後も継続していきます。

(3) OJT活動について

- ・新人職員に向けて定期的にオリエンテーションを実施することで、職員が不安に感じていることや問題点を引き出し改善へとつなげやすくなりました。

(4) 余暇時間と余暇活動について

- ・職員手作りの鳥居での初詣やデザートビュッフェは継続して実施できましたが、それ以外で利用者様全員が楽しめる苑内行事を増やすことができませんでした。苑内で利用者様全員が楽しめる行事を検討していくと共に、毎日のレクリエーションの充実にも努めていきます。

(5) 生活支援サービスの充実

①食事について

・食事前に手指消毒や嚥下体操・口腔内清拭を行い、感染予防・誤嚥防止に努めると共に食事状態のこまめな観察を行いました。

食事形態の検討とともに、お茶（ゲル）の硬さ等の検討を1年かけて実施し、よりよい食事の提供を目指しました。

利用者様に安心・安全に食事を楽しんで頂けるよう支援することができました。

②入浴介助について

・利用者様の状態に合わせたシャワー浴・機械浴の検討に加え時間帯の検討も行うと共に、リフトを活用することで、より安心・安全に入浴できるよう支援しました。

・体調が不良の利用者様には清拭にて対応を行い、行事等で入浴できない日には代替日を設けて週2回以上の入浴を確保しました。

③排泄介助について

・排泄委員会を中心に利用者様一人ひとりに合わせた排泄介助、パンツ・オムツ・パッドの検討をこまめに実施しました。

(6) 年間行事報告

4月	誕生会	10月	誕生日会・デザートビュッフェ
5月	端午の節句・母の日・誕生日会	11月	銀杏見学・誕生日会
6月	父の日・誕生日会・デザートビュッフェ	12月	クリスマス会・誕生日会
7月	七夕・誕生日会	1月	新年会・苑内初詣・鏡開き・誕生日会
8月	物故祭・誕生日会	2月	節分・誕生日会
9月	敬老会・十五夜・誕生日会	3月	ひな祭り・桜花見・デザートビュッフェ・誕生日会

(7) 勉強会報告

4月	権利擁護推進委員会（虐待について）
5月	感染予防対策委員会（高齢者に多い感染症について）
6月	褥瘡予防対策委員会（褥瘡について）
7月	外部講師による研修（介護技術研修）
8月	外部講師による研修（介護技術研修）
9月	事故対策委員会（事故報告書について）
10月	外部講師による研修（プロフェッショナル研修）
11月	外部講師による研修（プロフェッショナル研修）
12月	感染予防対策委員会（インフルエンザについて）
1月	排泄委員会（おむつの当て方）
2月	権利擁護推進委員会（身体拘束について）
3月	事故対策委員会（事例集）

(8) 委員会活動報告

安全衛生管理委員会	職場内巡視によりヒヤリハットの確認、職員の健康管理、腰痛予防について月1回委員会を開催しました。隔月に産業医に来苑していただき、感染防止や食中毒予防等の講義をしていただきました。
-----------	---

権利擁護推進委員会	センサー・予防マット使用利用者様について、状態・安全に配慮しながら検討することができました。身体拘束・虐待についてのアンケートにより、職員の知識、現状について把握できましたが、意識改革・向上にはなかなか繋がりませんでした。
事故対策委員会	ヒヤリハットについての対策を全職員で共有し、重大な事故を防ぐことができました。ヒヤリハット・インシデント・事故報告と細かく分類することで、さらなる事故防止に努めていきます。
褥瘡予防対策委員会	利用者様の褥瘡の状態に合わせた処置やエアマットの検討をすることで悪化防止に努めることができました。
感染予防対策委員会	うがい・手洗い・手すりやドアノブ、トイレの消毒・換気を徹底することで感染症の蔓延を防ぐことができました。今後も予防対策の徹底を心がけていきます。
給食委員会	嗜好調査を年2回行い旬の野菜を取り入れる等季節を感じられる献立作りに努めました。またお茶ゼリーをより安全に食べて頂くために、ゲル化剤の検討、変更をして安定した固さで提供できるようになりました。
行事委員会	外出の機会は少なくなりましたが、苑内で利用者様に楽しんでいただける行事を増やすことができました。より苑内で楽しめる行事やレクリエーションの在り方について検討していきます。
実習委員会	実習生が目標を達成できるよう支援することができました。支援する側の職員にとっても自分の行っている支援を見直す良い機会になりました。より充実した実習をしていただけるよう、支援する職員の知識・向上にも努めていきます。
排泄委員会	1年間を通してオムツ研修を実施することで、一人ひとりの技術、知識の向上に努めることができました。

彌栄苑デイサービスセンター 令和元年度事業報告

I. 事業所の概要

- (1) 定員 20名
- (2) 営業日 月曜日～土曜日
- (3) 営業時間 9:00～18:00
- (4) サービス提供時間
- | | |
|------|---------------------------------|
| 通所介護 | 9:40～16:45 |
| 総合事業 | 9:40～15:30 (筑後市、広域連合柳川・大木・広川支部) |
- (5) 加算
- | | |
|------|------------------------------|
| 通所介護 | 個別機能訓練加算Ⅰ・入浴介助加算・サービス提供体制加算Ⅰ |
| 総合事業 | 運動器機能向上訓練加算・サービス提供体制加算Ⅰ |

II. 事業所の沿革

(1) 独立行政法人福祉医療機構（設置・設備資金借入金）

平成31年 5月10日 第28次借入金元金・利息償還実施 [¥1,844,480]

令和元年11月10日 第29次借入金 利息償還実施 [¥ 70,400]

(2) 地域との交流

・ 広川町地域介護予防活動支援講師派遣事業

職員（介護福祉士・シナプソロジーインストラクター）2名 登録

派遣 長延公民館 令和元年 4月10日

鬼の淵公民館 令和元年 5月12日

内田公民館 令和元年 5月16日

吉里公民館 令和元年 6月14日

扇島公民館 令和元年 7月17日

北新代公民館 令和元年 8月 7日

高間公民館 令和元年 9月17日

北新代公民館 令和元年 1月 8日

清楽公民館 令和元年 1月24日

梯公民館 令和元年 2月 4日

・ 広川町老人クラブ サロン活動における交流会に参加（シナプソロジーの実施）

清楽公民館 令和元年 5月15日

緑ヶ丘公民館 令和元年 5月16日

太原公民館 令和元年 9月20日

川瀬公民館 令和2年 2月17日

・ 斗和保育園 クリスマス訪問 令和元年12月25日

III. 日課について

(1) 送迎介助

可能な限り、利用者様の希望時間に迎えが出来るよう配車及び運行ルートの調整を行い、ご自宅から事業所までの安全運転の確認を行いました。

(2) 入浴介助

入浴前にバイタルチェックを実施して特変の無い場合は、同性介助にて入浴を実施しました。歩行困難な利用者様には、入浴用車いす（シャワーキャリー）にて移乗介助を行い、安全な移動とスタッフの介助により入浴していただくことができました。入浴の為の一連動作は、利用者様の残存機能を活用したうえで、ご自身で洗身、洗髪をして頂きました。

皮膚観察を行い、皮膚の異常があれば御家族に報告を行いました。また持参の軟膏があれば、スタッフや利用者様ご自身で塗布し、その結果の観察に努めました。

(3) 排泄介助

尿意・便意の訴えの無い利用者様には、排泄感覚を取り戻すことができるようトイレへの誘導の声掛けと排泄間隔の把握に努めました。

(4) 食事介助

サービス担当者会議において嗜好調査及びアレルギーの有無等について確認を行いました。また必要な利用者様には、減塩食や腎臓病等の食事を提供しました。食事の感想や御意見等を管理栄養士や給食委員会等で報告し委託の給食会社により改善を図っていただきました。

口腔機能の維持を図るため、食事前に耳下腺マッサージやパタカラ体操を実施しました。

(5) レクリエーション

手先のリハビリを兼ねて、簡単な作品づくりをスタッフとともに実施しました。季節感を感じられるような内容を心掛けて、花紙づくりや塗り絵、手作りおやつ等を毎月実施しました。

レクリエーションの内容として、個人競技（巨大ジェンガ、ポーリング、輪投げ、玉入れ、ボール回し等）を実施し、脳トレーニングでは（言葉あつめ、トランプ、難読漢字、ことわざ、ビンゴ等）を実施しました。

定期的に慰問を受け入れ、音楽のリズムや踊りを楽しまれました。毎月1回、近隣の斗和保育園からの慰問は、園児と手を取り合って触れ合い、利用者様が笑顔で過ごされました。

(6) 個別機能訓練

主に午前中は集団体操、午後からはリハビリ室での個別リハビリを実施しました。利用開始にはアセスメントを行い、個別に設定したリハビリメニューで実施することができました。個別機能訓練計画に沿って3か月毎の評価、見直しを行いました。その結果、身体機能の維持向上が見られた利用者様がいる一方で、入院により再度計画を見直した利用者様もおられました。

(7) シナプソロジー

個別や集団でのシナプソロジーを行い、脳活性化の刺激を受けていただきました。戸惑いや混乱したときには、利用者様の笑顔が見られました。利用者様同士での触れ合いとして実施できました。

(8) 年間行事

4月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、道優会慰問、大正琴慰問、誕生日会
5月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、誕生日会
6月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、道優会慰問、大正琴慰問、誕生日会
7月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、スイカ割り
8月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、道優会慰問、誕生日会
9月	川瀬北コスモス会慰問、誕生日会、敬老会
10月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、道優会慰問、大正琴慰問、鶴の会慰問、誕生日会
11月	コスモス見学、音楽21慰問、斗和保育園児慰問
12月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、大正琴慰問、クリスマス会、誕生日会
1月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、成田山初詣、誕生日会、松鳳山関慰問
2月	九州プロレス慰問、大正琴慰問、梅花見、誕生日会
3月	誕生日会

- ・誕生日会について・・・利用者様一人ひとりの誕生日に合わせて、利用日または利用日前日に皆で誕生日会を開催しました。
- ・令和2年3月の外出や慰問は、新型コロナウイルスの影響で、中止となりました。

彌栄苑グループホーム 令和元年度事業報告

I. 基本方針

介護保険法に基づき、認知症により居宅での生活が困難な高齢者に対し、住み慣れた町で家庭的な雰囲気のもと安心して自分らしく暮らし続けられる様、適切な介護や援助をしながら食事の準備、清掃及び洗濯などの家事を職員と利用者様が共同で行うことにより認知症の進行を出来るだけ穏やかにし、利用者様の社会的孤立の解消に努めました。

II. 事業所の沿革

(1) 固定資産取得

〈器具及び備品〉

- ・居室（ひなぎく）、職員室 空調機更新 三和冷暖房株式会社
令和元年 7月25日取得 ￥529,200
- ・居室（すずらん、さざんか） 空調機更新 三和冷暖房株式会社
令和2年 1月27日取得 ￥539,000

(2) 地域との交流

- ・斗和保育園 節分 訪問 令和2年 2月 4日

III. 処遇について

(1) 個別援助計画

- ・新規の利用者様に対しては、心身の状況等を把握することに努め、御本人や御家族の思い、希望や意向を反映できるような支援の方法を職員の間で十分協議することに努めました。
- ・定期的に会議を実施して個別援助計画の実施状況の把握を行い、変更の必要性が生じたときは、速やかに見直しをするよう努めました。
- ・個別援助計画の重要性を全職員が認識して情報の共有化に努め、できる範囲で個々のニーズに即した形でサービスを提供しました。

(2) 生活相談

- ・利用者様、御家族から介護サービスについて要望があった場合は、迅速かつ適切に対応するよう努めました。

(3) 生活援助

- ・利用者様の身体機能及びその能力に応じた日常生活の援助に努めました。
- ・利用者様へ満足度チェックのアンケートを実施し、要望や趣味又は嗜好に対して可能な限りでの生活支援に努めました。
- ・家族会を通じて、利用者様と御家族との連携を図るとともに、交流等の機会を確保するように努めました。

(4) 機能訓練

- ・生活リハビリとして、家事等を日常生活の中で可能な限り行い、メリハリのつく生活を心がけて生活意欲の低下防止に努めました。

- ・個別レクリエーションの強化として、利用者様一人ひとりの能力に合わせて実施計画を作成しました。職員が個別に動作訓練・身体機能訓練を行い、脚力低下・予防・維持に努めました。
- ・集団リハビリでは、利用者様全員で体操やストレッチをすることで刺激を与え、身体機能の維持・向上に努めました。

(5) 職員の質の向上

- ・内部、外部研修に参加し、職員自身のスキルアップに努めました。
- ・サービスの質の確保と向上を図る目的として、年間自己評価及び第三者による外部評価を受け、利用者様と御家族の信頼を高めるよう努めました。

(6) 地域社会との連携

- ・近隣の斗和保育園の園児から訪問をしていただき、交流を図りました。
- ・「ふれあい祭り」を開催し、地域住民との交流を図りました。

〈利用者様の利用状況〉

退去者・・・	令和元年	5月31日	(介護3)	女性)
	令和元年	5月31日	(介護4)	女性)
入居者・・・	令和元年	6月8日	(介護2)	女性)
	令和元年	6月9日	(介護1)	女性)

〈運営推進委員会〉

開催日・・・	令和元年	5月17日	令和元年	7月31日
	令和元年	9月25日	令和元年	11月27日
	令和元年	1月24日		
	令和2年	3月	は、新型コロナウイルスの影響で、中止	

〈家族会〉

開催日・・・	令和元年	4月
--------	------	----

〈行事及び外出〉

4月	家族会、外出（桜花見）、ふれあい祭り
5月	端午の節句、母の日、外食会
6月	ドライブ
7月	七夕
8月	物故祭
9月	敬老会、誕生会、外出（灯籠人形見学）
10月	外出（コスモス花見）、誕生日会
11月	外出（银杏見学）
12月	誕生日会、クリスマス会
1月	外出（成田山初詣）、七草粥、鏡開き
2月	誕生日会、節分
3月	ひな祭り、誕生日会

ユニット型特別養護老人ホーム彌栄苑 令和元年度事業報告

I. 事業所の概況

平成26年2月に開設し、令和2年3月で7年目を迎えました。今年度は、利用者様の退去に伴い新しく4名の方が入居されました。平均要介護度は令和2年3月現在で3.7となり、平均年齢は85.1歳となっています。

II. 事業所の沿革

(1) 独立行政法人福祉医療機構（設置・設備資金借入金）

平成31年 4月10日～令和2年 3月10日

第69次～第80次借入金元金・利息償還実施 ￥14,996,478

(2) 佐賀銀行 津福支店（長期運営資金借入金）

平成31年 4月25日～令和2年 3月25日

第64回～第75回借入金元金・利息償還実施 ￥4,330,827

(3) 固定資産取得

〈器具及び備品〉

・防災用携行型発電設備 (株)井手電工

令和元年 1月27日取得 ￥248,050

(4) 指定介護サービス事業所 指定更新通知 令和2年2月1日～令和8年1月31日

・福岡県保健医療介護部 介護保険課 指導監査第一係 令和元年10月16日調査来苑

(5) 地域との交流

・斗和保育園 クリスマス会 令和元年12月25日訪問

III. 処遇について

(1) 入浴

利用者様の体調や希望に沿うように湯温や時間等を配慮して支援を行いました。

(2) 食事

ユニットごとの炊飯や温め、配膳を行うことでより温かい食事を召し上がって頂いています。

食事の内容に対して意見や要望が出された場合は、管理栄養士と連携して随時、もしくは給食会議等で相談・改善を行いました。利用者様が給食以外の食物を希望されることもあり、各ユニット手作りおやつや外食会、手作りおかず、出前、お誕生日には好物でお祝いする等の工夫を凝らし、ユニット毎に特徴のある活動を行いました。その活動の際に利用者様の中には、準備や配膳、後片付けへの参加が定着化している方がいます。他の方が参加される事でできないと思われていた利用者様が家事活動に参加できた時には、利用者様の残存能力を引き出すことの重要性を実感しました。

(3) 暮らしの継続

ユニット最大の目標である「暮らしの継続」については、職員全体で意識しています。入院等で基本的な生活のリズムが失われている状況であっても聞き取り項目を設けて、できる限り本来の御本人のライフスタイルに近づけるよう配慮しました。利用者様から相談を受けた場合は、その都度改善に向けた対応を行っています。利用者様同士や職員に対してのトラブル等があった場合は、速

やかに対応して終結に努めました。御家族とは、連絡や情報の共有、面会等多くのご協力をいただきました。また、行事等にも多数ご参加いただき御家族と想いを共有することができました。

(4) 健康管理

医療面においては看護師と連携してより専門的な視点で病状の把握、管理を行いました。嘱託医、受診先の医師への状況報告や投薬の管理、緊急時の対応、健康診断なども含めて把握をし、必要な場合は、御家族への報告を行いました。

看取りについては、嘱託医よりターミナル期が近づいていることを御家族にお伝えし最期まで施設でと希望された御家族とは寄り添いながらできる限りのケアに当たらせていただきました。本年度において1名の方が当苑での看取りを希望され最期の時を御家族、職員と共に過ごさせていただきました。御家族と寄り添うことで想いを知り、寄り良い看取りについて沢山考え、学ぶことができました。今後も御家族と寄り添う姿勢でケアに当たりたいと思います。

(5) 機能訓練

利用者様の重度化に伴い認知症の周辺症状が表出しやすくなっています。脳活性を目標に日々の暮らしの中で計算問題やパズル等身近なものを使いながら取り組むことができました。

(6) 行事・クラブ活動

ユニット毎に様々な行事を行いました。利用者様の状態やパーソナリティによって行事の内容も各ユニットでそれぞれ異なります。各ユニットとも会議等において利用者様の満足できる行事やレクリエーションができていのか意見交換しながら創意工夫を凝らしました。

全体の行事としては、川瀬北大正琴の慰問と斗和保育園からの慰問が隔月で行われており、敬老会や花鳥風月会などの行事に取り組みました。敬老会では、音楽21様による演奏会が毎年恒例になっており、御家族も楽しく過ごされています。次年度の敬老会を既に楽しみにされている利用者様、御家族の要望にお応えし今後も御家族参加型の行事を継続していきます。

クラブ活動については各ユニット主催で開催しています。花ユニットは、カラオケクラブ、鳥ユニットは、レクリエーションクラブ、風ユニットは、書道クラブ、月ユニットは、絵手紙クラブとバラエティに富んだ活動ができました。他のユニットの利用者様や職員とのコミュニケーションも図れて交流することができました。

(7) 職員について

一昨年、全てのユニットリーダーの配置転換を行った事に加えて今年度は、ユニットリーダーの1名が特養事業所へ異動、それに伴い新しく1名のユニットリーダーが就任しました。それぞれのユニットでは、利用者様のニーズに応えるべく職員間で何度も話し合い工夫してより良い生活の場を提供するために風通しの良い人間関係の形成に力を入れています。

また利用者様、御家族、職員の関係が近いことで連携が取りやすくなっています。各ユニットの雰囲気大切にしながら月間目標を立てて、職員全体がベクトルを合わせ達成の状況をリーダー会議で報告できるような体制を継続していきます。

IV. 各ユニットより

(花ユニット)

今年度、季節ごとに苑内での活動や外出、外食等の行事を実施しました。全員での活動は出来ましたが、個別のレクリエーションが充実できませんでした。今後は全員での活動も行いながら利用者様個々に楽しんで頂けるような活動を提供していきます。また、職員が不足していた時期に個々のケアより業務が優先になることがありました。今後は、利用者様一人一人の状態に合わせた生活の場を楽しんで頂けるよう職員間でさらに工夫していきます。職員一同、力を合わせて利用者様に満足して頂けるようサービスの提供に努めます。

(鳥ユニット)

年度初めより利用者様、職員とも同じ顔ぶれだったため、落ち着いた環境でゆっくりと交流を図ることができました。7月より職員が1名増えたことで、毎月の行事もより楽しく過ごすことができました。外出等は出来ませんでしたが、ユニット内でのレクリエーションやおやつ作りなどで利用者様の笑顔が見られ、会話も弾んで楽しまれていました。

入院される方もあったことから利用者様に対しての健康管理については、さらに努めて多職種との連携を図り来年度は入院される方の軽減を目指します。また、体調不良を起こす職員もあったので、今後は職員一同、体調管理に努めていきます。次年度では、ユニット間の情報を共有し利用者様の気持ちを尊重して、ニーズに応じた生活の場を目指して笑顔で楽しく過ごしていただきます。

(風ユニット)

今年度は、利用者様と職員が顔なじみとなって交流が行いやすく、会話やレクリエーションなど行事を通して笑顔で過ごすことができました。

昨年同様に月1回程度で手作りおやつを実施しました。利用者様自身に作って頂いた中、失敗したりすることもありましたが、その失敗も楽しい出来事として笑顔が生まれていたため良い交流ができました。職員が業務に追われ利用者様と関わる時間が減っていると感じたときには、すぐにユニット内で話し合いを行い、業務改善を図ることによって利用者様と関われる時間を増やしました。また、業務改善を行ったことによりレクリエーションの活動を行う機会が増え、職員と利用者様との関わりがより深くなりました。今後も紙芝居や歌、風船バレーなどを実施して利用者様に楽しく過ごして頂けるよう心がけていきます。

職員全員が団結して意見を出し合い利用者様のことを第一に考えた結果、笑顔溢れる環境が出来ています。利用者様がどういう事を希望されているのか目配り気配りを行うことでより良い環境づくりができるようにしていきます。

(月ユニット)

今年度は、月1回のおやつ作りや外出をして外食をするなど利用者様に楽しんで頂けるイベントを計画し、なるべく実施できるように努めることができました。

職員の異動があったため、職員間の情報共有に努め意見交換を行うことで利用者様に不安を与えることなく過ごしていただきました。利用者様の要望や訴えを尊重し、その方らしく生活できるよう努めました。また、個別での立位訓練や歩行訓練等プランに沿った対応も実施できました。職員同士の報告・連絡・相談を大切に、利用者様が楽しく笑顔で過ごして頂ける暮らしの場をつくっていきます。